

平成21年12月3日
 大臣官房統計情報部
 人口動態・保健統計課 保健統計室
 室長 依田 紀彦
 室長補佐 國光 文乃
 (担当・内線) 傷病統計係 (7516, 7517)
 (電話代表) 03 (5253) 1111
 (ダイヤルイン) 03 (3595) 2958

平成 2 0 年
 (2008)

患者調査の概況

目次

調査の概要	1 頁
結果の概要	3
1 推計患者数	
(1) 施設の種類の性・年齢階級別	3
(2) 傷病分類別	5
ア 入院患者	5
イ 外来患者	6
(3) 病床の種類別	7
(4) 主傷病・副傷病の状況	8
(5) 在宅医療の状況	9
(6) 救急の状況	9
(7) 入院(重症度等)の状況	10
2 受療率	
(1) 性・年齢階級別	11
(2) 傷病分類別	12
(3) 都道府県別	13
3 退院患者の平均在院日数等	
(1) 施設の種類の年齢階級別	14
(2) 傷病分類別	15
(3) 都道府県別	16
(4) 病床の種類別	17
(5) 手術前平均在院日数・手術後平均在院日数	18
4 入院前の場所・退院後の行き先	19
5 主要な傷病の総患者数	20
統計表 1～13	23
(参考) 受療率の算出に用いた人口	36

平成20年患者調査の結果は厚生労働省のホームページにも掲載されています。
 アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、病院及び診療所(以下「医療施設」という。)を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

全国の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした。

	施設数	抽出率	客 体 数	
			入院・外来	退 院
病 院	6,543	入院 7.5/10, 外来 3.9/10	204.7万人	95.4万人
一般診療所	5,825	6.4/100	28.0万人	1.3万人
歯科診療所	1,266	2/100	2.7万人	

注： 歯科診療所は、外来のみの調査である。

3 調査の期日

病院については、平成20年10月21日(火)～23日(木)の3日間のうち病院ごとに指定した1日とし、診療所については、平成20年10月21日(火)～22日(水)、24日(金)(平成17年から休診の多い木曜日は除外した。)の3日間のうち診療所ごとに指定した1日とした。

また、退院患者については、平成20年9月1日～30日までの1か月間とした。

4 調査事項

性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種別、受療(診断・治療、検査、管理等の医療・保健サービスを受けること)の状況等

5 調査の方法及び系統

医療施設の管理者が記入する方式によった。

厚生労働省 ―― 都道府県 ―― 保健所 ―― 医療施設
 〔保健所設置市 〕
 特 別 区

6 結果の集計

厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、医療施設に関する情報の一部は平成20年医療施設静態調査の結果を用いた。

7 用語の説明

(1) 推計患者数

調査日当日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数である。

(2) 推計退院患者数

調査対象期間中(平成20年9月1日～30日)に病院、一般診療所を退院した患者の推計数である。

(3) 退院患者の平均在院日数

調査対象期間中(平成20年9月1日～30日)に退院した患者の在院日数の平均である。

(4) 受療率

推計患者数を人口10万対であらわした数である。

受療率(人口10万対) = 推計患者数 / 推計人口 × 100,000

結 果 の 概 要

(5) 総患者数（傷病別推計）

調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7）

(6) 病床の種類

精神病床

精神疾患を有する者を入院させるための病床をいう。

感染症病床

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第114号）に規定する一類感染症、二類感染症及び新感染症の患者を入院させるための病床をいう。

結核病床

結核の患者を入院させるための病床をいう。

療養病床

病院の病床（精神病床、感染症病床、結核病床を除く。）又は一般診療所の病床のうち主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床をいう。

一般病床

精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいう。

(7) 主傷病・副傷病

主傷病

入院患者においては、入院の理由となった傷病、外来患者においては、調査日現在、主として治療または検査をした傷病をいう。

副傷病

主傷病以外で有していた傷病をいう。（本調査では、糖尿病、肥満、高脂血症、高血圧、虚血性心疾患、脳卒中、閉塞性末梢動脈疾患、大動脈疾患、慢性腎不全、精神疾患のみを把握している。）

8 利用上の注意

(1) 本調査における傷病は、世界保健機関（WHO）の「国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD）」に基づき分類している。

なお、平成20年の調査では「第10回修正国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD-10）（2003年版）準拠」を適用している。

(2) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章する事が不適当な場合	…
統計項目のありえない場合	・
推計値、比率等でまるめた結果が表章すべき最下位の桁の1に達しない場合	0又は0.0

(3) 掲載の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

(4) 人口10万対算出のため用いた人口は、総務省統計局「平成20年10月1日現在推計人口（総人口127,692千人）」である。

(5) 傷病分類別の患者数は、「副傷病」と記述のあるところ以外は「主傷病」について表章したものである。

1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,392.4千人、「外来」6,865.0千人である。

(1) 施設の種類の性・年齢階級別

「入院」1,392.4千人について、施設の種類の別みると「病院」1,332.6千人、「一般診療所」59.8千人、性別にみると「男」639.7千人、「女」752.6千人、年齢階級別にみると「65歳以上」931.4千人、「75歳以上」652.3千人となっている。

「外来」6,865.0千人について、施設の種類の別みると「病院」1,727.5千人、「一般診療所」3,828.0千人、「歯科診療所」1,309.4千人、性別にみると「男」2,918.5千人、「女」3,946.4千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,076.8千人、「75歳以上」1,592.3千人となっている。

（表1、統計表1・2）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 392.4	1 332.6	59.8	6 865.0	1 727.5	3 828.0	1 309.4
(平成17年)	(1 462.8)	(1 391.6)	(71.2)	(7 092.4)	(1 866.4)	(3 948.9)	(1 277.2)
男	639.7	621.4	18.4	2 918.5	799.9	1 561.8	556.7
女	752.6	711.2	41.4	3 946.4	927.6	2 266.2	752.7
0 歳	11.6	11.2	0.3	64.0	15.0	49.0	-
1 ～ 4	8.4	8.4	0.1	261.6	37.5	205.0	19.1
5 ～ 9	5.6	5.5	0.1	237.0	28.9	144.4	63.7
10 ～ 14	5.8	5.7	0.1	136.1	21.7	84.4	30.1
15 ～ 19	8.0	7.8	0.3	117.3	21.2	65.6	30.6
20 ～ 24	13.0	11.9	1.1	151.5	33.2	80.2	38.0
25 ～ 29	20.5	18.2	2.4	202.1	46.3	106.0	49.9
30 ～ 34	28.0	25.2	2.8	268.8	62.2	138.2	68.3
35 ～ 39	31.4	29.8	1.6	297.1	70.3	150.7	76.1
40 ～ 44	31.6	30.7	0.8	278.5	68.2	136.5	73.8
45 ～ 49	39.5	38.6	1.0	284.7	75.0	137.4	72.3
50 ～ 54	53.4	52.1	1.4	338.0	89.5	162.8	85.8
55 ～ 59	93.5	91.4	2.1	513.9	139.5	251.9	122.4
60 ～ 64	108.3	105.6	2.7	615.6	167.9	313.5	134.3
65 ～ 69	125.8	123.0	2.8	687.3	191.3	361.3	134.7
70 ～ 74	153.2	148.4	4.8	797.2	216.9	453.7	126.6
75 ～ 79	184.6	177.5	7.2	733.4	203.1	436.3	94.0
80 ～ 84	186.0	176.3	9.7	508.6	142.6	311.5	54.4
85 ～ 89	149.5	140.1	9.5	240.6	66.3	152.5	21.9
90歳以上	132.1	123.2	9.0	109.8	28.2	71.0	10.6
不 詳	2.3	2.2	0.2	21.9	2.9	16.2	2.8
(再 掲)							
65歳以上	931.4	888.4	43.0	3 076.8	848.4	1 786.2	442.2
70歳以上	805.5	765.4	40.1	2 389.5	657.1	1 424.9	307.5
75歳以上	652.3	617.0	35.3	1 592.3	440.2	971.2	180.9

注：（ ）内は、平成17年10月の数値である。

施設の種類の別々に年次推移をみると、入院では、病院は平成8年からほぼ横ばいであったが平成20年は減少しており、一般診療所は昭和59年から減少傾向にある。外来では、病院、一般診療所ともに平成20年は減少しており、歯科診療所は平成14年から増加傾向にある。(図1、統計表1・2)

年齢階級別にみると、入院、外来ともに、「75歳以上」を除く「0～14歳」「15～34歳」「35～64歳」「65歳以上」の各年齢階級で平成20年は減少している(図2、統計表1・2)。

図1 施設の種類の別々にみた推計患者数の年次推移

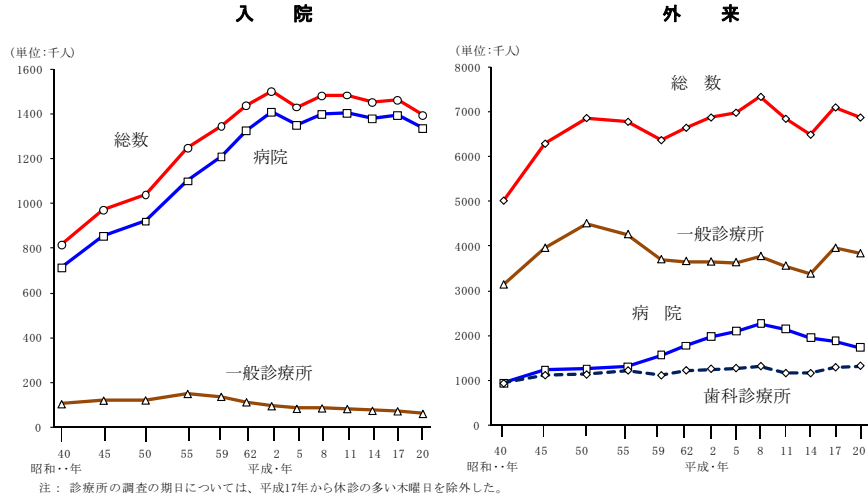
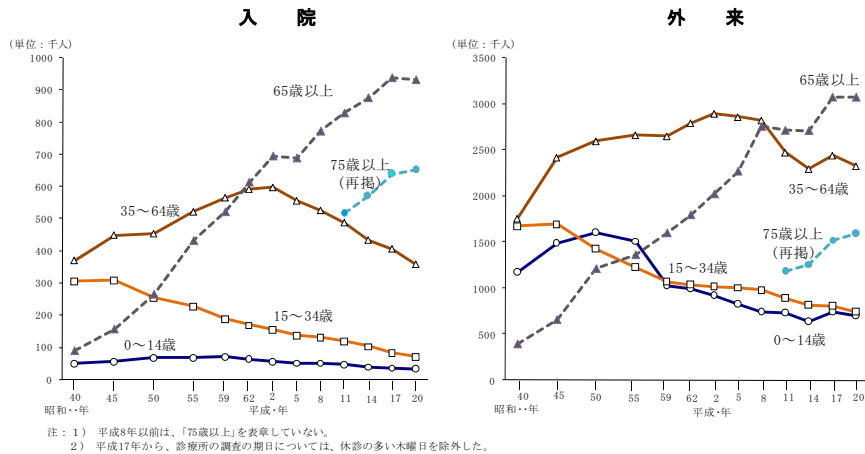


図2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



(2) 傷病分類別

ア 入院患者

入院患者を傷病分類別にみると、平成17年に比べ全体的に減少傾向にあるが、多い順に「V 精神及び行動の障害」301.4千人、「IX 循環器系の疾患」280.3千人、「II 新生物」159.2千人となっている。病院では、「V 精神及び行動の障害」299.5千人、「IX 循環器系の疾患」267.0千人、「II 新生物」155.8千人の順となっている。一般診療所では、「IX 循環器系の疾患」13.3千人、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」9.5千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」7.7千人の順となっている。(表2、統計表3・4)

表2 傷病分類別にみた施設の種類の別々に推計入院患者数

傷病分類	推計入院患者数					
	総数	病院		一般診療所		
		平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年
総数	1 392.4	1 462.8	1 332.6	1 391.6	59.8	71.2
I 感染症及び寄生虫症	24.6	27.2	23.9	25.9	0.6	1.3
結核 (再掲)	4.6	6.1	4.6	6.1	0.0	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	3.3	4.6	3.0	4.1	0.3	0.5
II 新生物	159.2	169.8	155.8	164.6	3.4	5.2
胃の悪性新生物 (再掲)	17.1	18.8	16.7	18.4	0.4	0.4
大腸の悪性新生物 (再掲)	19.6	19.4	19.1	18.9	0.5	0.5
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	9.8	11.2	9.5	10.2	0.3	1.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	20.3	20.3	20.1	20.1	0.2	0.3
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5.9	5.9	5.7	5.6	0.2	0.3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.9	39.7	34.9	36.7	2.0	3.0
糖尿病 (再掲)	26.2	30.3	24.7	28.0	1.5	2.4
V 精神及び行動の障害	301.4	326.2	299.5	323.3	1.9	2.9
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	44.4	54.0	43.3	52.6	1.1	1.5
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	187.4	198.9	187.3	198.7	0.1	0.2
VI 神経系の疾患	105.4	97.3	102.4	93.9	3.0	3.4
VII 眼及び付属器の疾患	10.3	12.7	9.4	11.6	0.9	1.0
VIII 耳及び乳突突起の疾患	2.7	3.0	2.5	2.8	0.2	0.2
IX 循環器系の疾患	280.3	318.7	267.0	302.5	13.3	16.2
高血圧性疾患 (再掲)	8.7	11.6	6.8	9.3	2.0	2.3
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	58.2	60.2	55.5	57.3	2.6	2.9
脳血管疾患 (再掲)	199.4	233.6	192.0	223.5	7.4	10.2
X 呼吸器系の疾患	83.8	78.7	80.8	74.7	3.0	4.0
喘息 (再掲)	5.7	8.7	5.2	8.1	0.4	0.6
XI 消化器系の疾患	68.4	72.0	65.5	68.6	2.8	3.4
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.8	0.9	0.8	0.9	0.0	0.0
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	10.0	11.7	9.3	10.9	0.7	0.8
肝疾患 (再掲)	9.8	12.7	9.2	11.9	0.6	0.8
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	12.3	9.5	11.9	9.1	0.4	0.4
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	68.5	68.8	60.8	60.5	7.7	8.3
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	47.3	46.2	44.0	42.2	3.3	4.0
XV 妊娠、分娩及び産後	19.4	19.0	14.8	14.4	4.6	4.6
XVI 周産期に発生した病態	6.1	6.2	6.0	6.0	0.2	0.1
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.7	5.8	5.7	5.7	0.1	0.1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.8	23.8	17.9	22.5	0.9	1.3
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	125.6	122.5	116.1	113.5	9.5	9.1
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.9	9.8	8.0	7.2	1.9	2.6
歯の補綴 (再掲)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-

イ 外来患者

外来患者を傷病分類別にみると、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,249.8千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」945.3千人、「IX 循環器系の疾患」894.8千人となっている。

病院では、「IX 循環器系の疾患」273.7千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」197.8千人、「II 新生物」170.7千人の順となっている。一般診療所では、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」747.5千人、「IX 循環器系の疾患」621.1千人、「X 呼吸器系の疾患」537.3千人の順となっている。(表3、統計表5・6)

表3 傷病分類別にみた施設の種別推計外来患者数

傷病分類	推計外来患者数							
	総数		病院		一般診療所		歯科診療所	
	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年
総数	6 865.0	7 092.4	1 727.5	1 866.4	3 828.0	3 948.9	1 309.4	1 277.2
I 感染症及び寄生虫症	194.6	227.5	54.5	66.6	140.1	160.9	-	-
結核	2.4	3.1	2.0	2.7	0.5	0.4	-	-
ウイルス肝炎	55.3	79.4	24.8	30.2	30.5	49.3	-	-
II 新生物	218.2	204.6	170.7	161.5	47.5	43.1	-	-
胃の悪性新生物	21.4	19.3	17.2	15.1	4.2	4.2	-	-
大腸の悪性新生物	23.5	20.3	20.0	16.8	3.6	3.4	-	-
肝及び肝内胆管の悪性新生物	7.3	8.0	5.5	5.4	1.8	2.7	-	-
気管、気管支及び肺の悪性新生物	14.6	12.9	12.9	10.9	1.8	2.1	-	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	22.6	26.4	10.7	11.1	11.9	15.3	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	360.3	381.5	132.1	139.9	228.1	241.7	-	-
糖尿病	188.0	202.4	82.2	85.4	105.8	117.0	-	-
V 精神及び行動の障害	232.3	224.5	109.8	111.9	122.5	112.6	-	-
血管性及び詳細不明の認知症	12.7	12.0	4.1	4.7	8.7	7.3	-	-
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	66.5	62.9	45.9	45.4	20.6	17.5	-	-
VI 神経系の疾患	133.0	143.2	63.8	68.8	69.2	74.5	-	-
VII 眼及び付属器の疾患	269.3	333.7	56.2	74.9	213.0	258.7	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	122.4	114.6	17.6	20.6	104.7	94.0	-	-
IX 循環器系の疾患	894.8	949.5	273.7	287.8	621.1	661.8	-	-
高血圧性疾患	601.3	644.2	123.9	126.2	477.5	518.0	-	-
心疾患(高血圧性のものを除く)	130.3	142.6	73.6	73.5	56.7	69.1	-	-
脳血管疾患	119.9	122.9	57.4	69.2	62.5	53.7	-	-
X 呼吸器系の疾患	649.3	757.7	112.0	144.9	537.3	612.7	-	-
喘息	112.9	147.1	32.1	41.6	80.8	105.5	-	-
X I 消化器系の疾患	1 249.8	1 301.4	122.4	136.4	158.7	185.2	968.7	979.9
歯及び歯の支持組織の疾患	966.4	985.9	23.3	27.6	5.9	7.2	937.2	951.2
食道、胃及び十二指腸の疾患	139.6	166.4	45.9	54.8	93.7	111.6	-	-
肝疾患	36.2	47.9	13.9	18.8	22.3	29.1	-	-
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	252.7	266.6	50.3	57.3	202.4	209.3	-	-
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	945.3	983.1	197.8	225.2	747.5	758.0	-	-
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	288.7	252.0	114.7	116.8	174.0	135.2	-	-
X V 妊娠、分娩及び産じょく	17.1	14.5	7.3	6.8	9.8	7.7	-	-
X VI 周産期に発生した病態	2.6	2.0	2.0	1.6	0.6	0.4	-	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	12.9	12.0	9.2	8.6	3.7	3.4	-	-
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	86.5	76.3	48.1	38.1	38.4	38.1	-	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	319.3	303.9	107.9	119.6	208.4	181.2	3.1	3.1
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	593.3	517.4	66.7	68.0	188.9	155.1	337.6	294.2
歯の補てつ	302.6	267.5	4.4	5.1	1.6	1.0	296.7	261.4

(3) 病床の種類別

入院患者を病床の種類別にみると、病院では、「精神病床」306.7千人、「療養病床」301.8千人、「一般病床」720.3千人、一般診療所では、「療養病床」16.3千人となっている。

これを傷病分類別にみると、病院の一般病床では、「II 新生物」146.5千人、「IX 循環器系の疾患」120.6千人、療養病床では、「IX 循環器系の疾患」144.6千人、「VI 神経系の疾患」33.0千人が多くなっている。(表4)

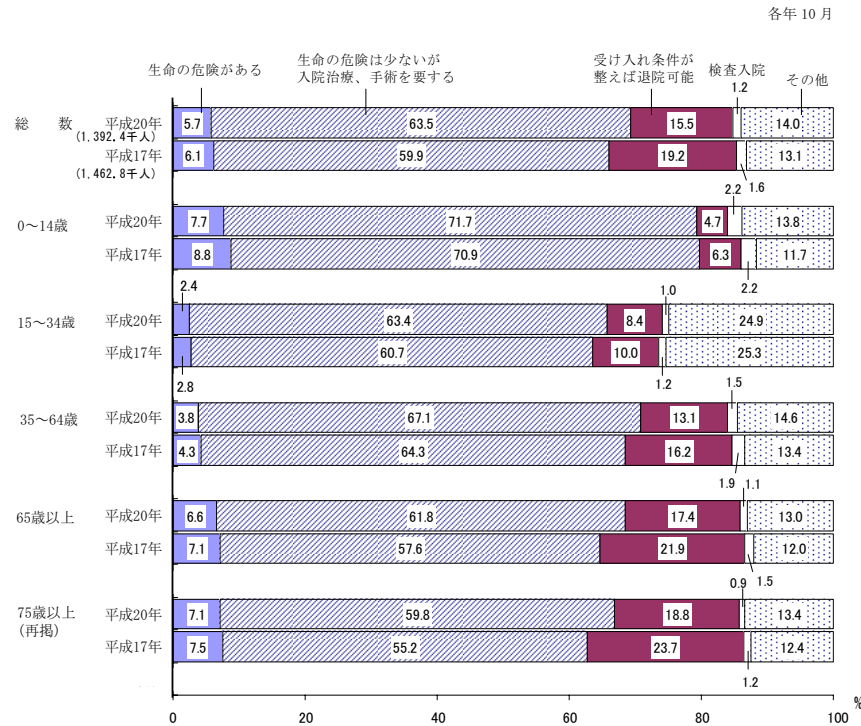
表4 傷病分類別にみた病床の種類別推計入院患者数

傷病分類	総数	病院						一般診療所		療養病床(再掲)	
		精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	一般診療所	療養病床(再掲)			
総数	1 392.4	1 332.6	306.7	0.0	3.8	301.8	720.3	59.8	16.3		
I 感染症及び寄生虫症	24.6	23.9	0.4	0.0	3.5	1.9	18.1	0.6	0.0		
結核	4.6	4.6	0.0	0.0	3.3	0.3	1.0	0.0	-		
ウイルス肝炎	3.3	3.0	0.0	-	0.0	0.4	2.6	0.3	0.0		
II 新生物	159.2	155.8	0.1	0.0	0.0	9.1	146.5	3.4	0.4		
胃の悪性新生物	17.1	16.7	0.0	-	0.0	1.0	15.7	0.4	0.1		
大腸の悪性新生物	19.6	19.1	0.0	-	0.0	1.3	17.9	0.5	0.1		
肝及び肝内胆管の悪性新生物	9.8	9.5	0.0	-	-	0.5	9.0	0.3	0.0		
気管、気管支及び肺の悪性新生物	20.3	20.1	0.0	0.0	0.0	0.9	19.2	0.2	0.0		
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5.9	5.7	0.0	-	0.0	-	0.6	5.0	0.2	0.0	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.9	34.9	0.5	-	0.0	10.9	23.5	2.0	0.6		
糖尿病	26.2	24.7	0.1	-	0.0	9.0	15.5	1.5	0.5		
V 精神及び行動の障害	301.4	299.5	274.3	0.0	0.0	18.4	6.7	1.9	1.1		
血管性及び詳細不明の認知症	44.4	43.3	28.8	-	0.0	13.5	1.0	1.1	0.8		
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	187.4	187.3	185.3	0.0	0.0	1.4	0.7	0.1	0.0		
VI 神経系の疾患	105.4	102.4	27.2	-	0.0	33.0	42.3	3.0	1.5		
VII 眼及び付属器の疾患	10.3	9.4	0.0	0.0	-	0.1	9.3	0.9	0.0		
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.7	2.5	0.0	-	-	0.1	2.4	0.2	0.0		
IX 循環器系の疾患	280.3	267.0	1.7	0.0	0.1	144.6	120.6	13.3	5.8		
高血圧性疾患	8.7	6.8	0.1	-	0.0	3.7	3.0	2.0	0.7		
心疾患(高血圧性のものを除く)	58.2	55.5	0.1	0.0	0.0	13.8	41.6	2.6	0.8		
脳血管疾患	199.4	192.0	1.5	-	0.0	125.3	65.2	7.4	4.2		
X 呼吸器系の疾患	83.8	80.8	0.1	0.0	0.1	15.1	65.5	3.0	0.6		
喘息	5.7	5.2	0.0	-	0.0	0.8	4.4	0.4	0.1		
X I 消化器系の疾患	68.4	65.5	0.2	0.0	0.0	5.0	60.3	2.8	0.4		
歯及び歯の支持組織の疾患	0.8	0.8	0.0	-	-	0.0	0.7	0.0	-		
食道、胃及び十二指腸の疾患	10.0	9.3	0.0	-	0.0	1.1	8.1	0.7	0.2		
肝疾患	9.8	9.2	0.1	-	0.0	1.2	8.0	0.6	0.1		
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	12.3	11.9	0.0	-	0.0	2.3	9.5	0.4	0.1		
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	68.5	60.8	0.1	-	0.0	15.9	44.8	7.7	2.4		
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47.3	44.0	0.2	-	0.0	8.8	35.0	3.3	0.8		
X V 妊娠、分娩及び産じょく	19.4	14.8	-	-	-	0.0	14.8	4.6	-		
X VI 周産期に発生した病態	6.1	6.0	-	-	-	0.0	6.0	0.2	-		
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.7	5.7	0.1	-	-	0.5	5.1	0.1	0.0		
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.8	17.9	0.6	-	0.0	3.0	14.3	0.9	0.2		
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	125.6	116.1	1.0	0.0	0.0	30.6	84.4	9.5	1.8		
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.9	8.0	0.1	-	-	1.8	6.1	1.9	0.4		
歯の補てつ	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	-	-		

(7) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.7%、「生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する」63.5%、「受け入れ条件が整えば退院可能」15.5%、「検査入院」1.2%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い多くなっているが、いずれの年齢階級でも平成17年より少なくなっている。（図3）

図3 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
 5) 「その他」とは、上記以外の場合の入院患者をいう。
 6) () 内は、推計入院患者数である。

2 受療率

全国受療率（人口10万対）は、「入院」1,090、「外来」5,376である。

(1) 性・年齢階級別

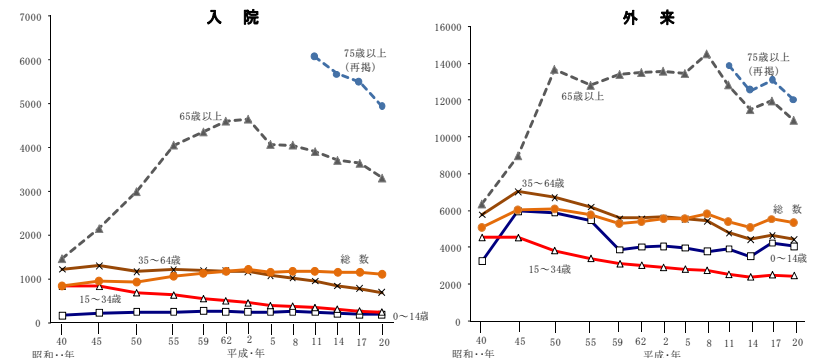
性別にみると、入院では「男」1,028、「女」1,150となっており、外来では「男」4,688、「女」6,031となっている。年齢階級別にみると、平成17年に比べ全体的に減少しているが、入院では「5～9歳」及び「10～14歳」がそれぞれ97と最も低く、年齢階級が上がるほど高くなっている。外来では「15～19歳」が1,906と最も低く、「75～79歳」が12,855と最も高くなっている。（表8、図4、統計表8）

表8 性・年齢階級別にみた受療率（人口10万対）

	入 院				外 来			
	総 数		男	女	総 数		男	女
	平成20年	平成17年	平成20年	平成20年	平成17年	平成20年	平成20年	
総 数	1 090	1 145	1 028	1 150	5 376	5 551	4 688	6 031
0 歳	1 052	1 039	1 108	994	5 814	6 276	6 027	5 590
1 ～ 4	195	201	214	176	6 077	6 477	6 212	5 936
5 ～ 9	97	113	108	85	4 096	4 030	4 212	3 973
10 ～ 14	97	110	106	88	2 275	2 390	2 389	2 155
15 ～ 19	131	133	138	123	1 906	1 909	1 727	2 094
20 ～ 24	183	212	161	206	2 132	2 315	1 516	2 782
25 ～ 29	269	298	199	343	2 649	2 706	1 816	3 516
30 ～ 34	311	345	236	389	2 987	2 918	2 127	3 875
35 ～ 39	326	375	316	337	3 092	3 123	2 387	3 813
40 ～ 44	375	436	429	321	3 313	3 517	2 715	3 920
45 ～ 49	508	570	587	428	3 659	3 669	3 145	4 178
50 ～ 54	683	807	808	558	4 322	4 486	3 726	4 916
55 ～ 59	950	1 036	1 158	747	5 224	5 535	4 615	5 820
60 ～ 64	1 209	1 344	1 475	955	6 872	7 383	6 331	7 388
65 ～ 69	1 565	1 772	1 865	1 291	8 548	9 370	8 031	9 024
70 ～ 74	2 202	2 501	2 526	1 924	11 458	12 846	10 826	12 001
75 ～ 79	3 236	3 521	3 561	2 987	12 855	14 060	12 325	13 256
80 ～ 84	4 583	5 185	4 723	4 495	12 531	13 664	12 584	12 497
85 ～ 89	6 879	7 844	6 508	7 036	11 067	11 693	11 455	10 903
90 歳以上	10 308	12 000	8 958	10 747	8 562	8 879	10 013	8 149
(再掲)								
65 歳以上	3 301	3 639	3 186	3 387	10 904	11 948	10 484	11 218
70 歳以上	3 992	4 400	3 806	4 121	11 843	12 998	11 635	11 987
75 歳以上	4 935	5 487	4 630	5 120	12 045	13 086	12 156	11 981

注：総数には、年齢不詳を含む。

図4 年齢階級別にみた受療率（人口10万対）の年次推移



注：1) 平成8年以前は、「75歳以上」を表章していない。
 2) 平成17年から、診療所の調査の期日については、休診の多い木曜日を除外した。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、高い順に入院では、「V 精神及び行動の障害」236、「IX 循環器系の疾患」219、「II 新生物」125 となっており、外来では、「XI 消化器系の疾患」979、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」740、「IX 循環器系の疾患」701 となっている（表9、統計表9・10）。

表9 傷病分類別にみた受療率（人口10万対）

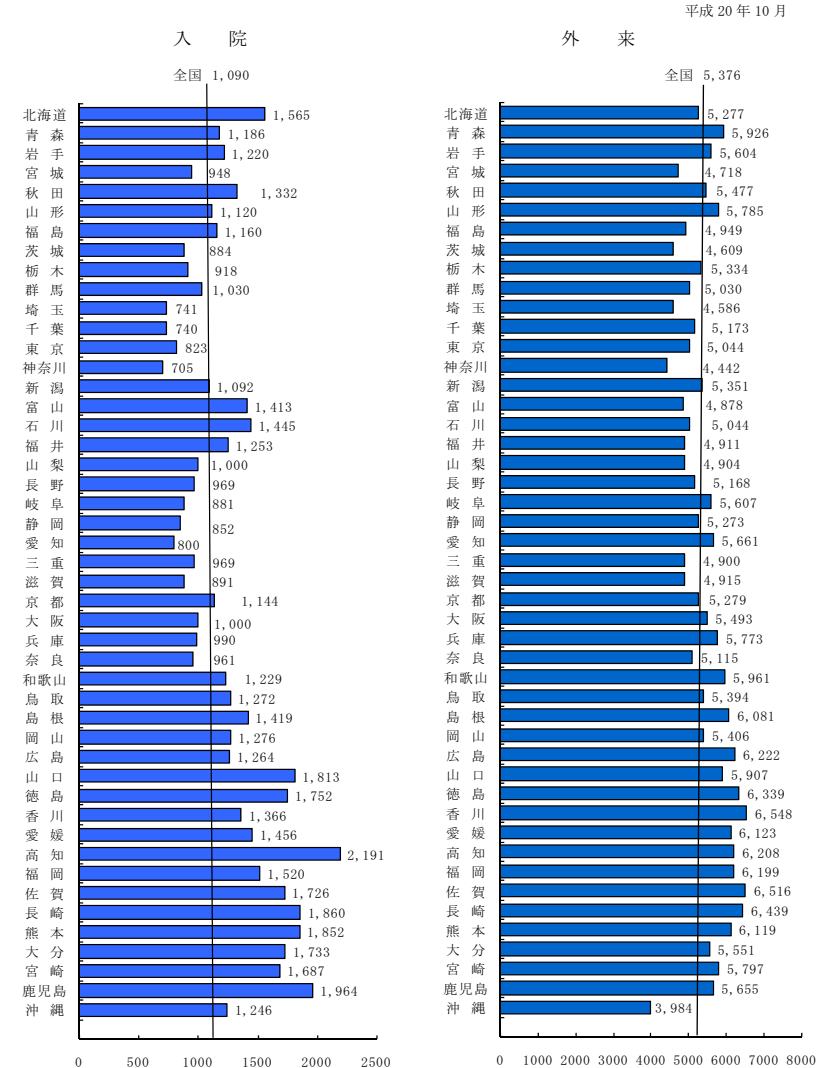
傷病分類	各年10月							
	入院			外来				
	総数	男	女	総数	男	女		
総数	1 090	1 145	1 028	1 150	5 376	5 551	4 688	6 031
I 感染症及び寄生虫症	19	21	21	18	152	178	140	165
結核 (再掲)	4	5	5	3	2	2	2	2
ウイルス肝炎 (再掲)	3	4	3	2	43	62	43	43
II 新生物	125	133	144	106	171	160	161	180
胃の悪性新生物 (再掲)	13	15	18	9	17	15	23	11
大腸の悪性新生物 (再掲)	15	15	18	13	18	16	22	15
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	8	9	11	5	6	6	7	4
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	16	16	22	10	11	10	15	8
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	5	4	5	18	21	10	25
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	29	31	26	31	282	299	243	320
糖尿病 (再掲)	20	24	20	21	147	158	163	132
V 精神及び行動の障害	236	255	240	232	182	176	163	200
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	35	42	24	45	10	9	5	15
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	147	156	158	136	52	49	56	48
VI 神経系の疾患	83	76	71	94	104	112	91	116
VII 眼及び付属器の疾患	8	10	7	9	211	261	156	263
VIII 耳及び乳突突起の疾患	2	2	2	2	96	90	87	104
IX 循環器系の疾患	219	249	193	244	701	743	625	773
高血圧性疾患 (再掲)	7	9	4	10	471	504	383	555
心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	46	47	42	49	102	112	109	96
脳血管疾患 (再掲)	156	183	136	175	94	96	95	93
X 呼吸器系の疾患	66	62	73	59	508	593	493	523
喘息 (再掲)	4	7	4	5	88	115	90	86
XI 消化器系の疾患	54	56	60	48	979	1 019	866	1 086
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	1	1	1	1	757	772	666	844
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8	9	8	7	109	130	91	127
肝疾患 (再掲)	8	10	9	7	28	37	32	25
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	10	7	9	10	198	209	179	216
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	54	54	36	70	740	769	560	912
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	37	36	37	37	226	197	216	235
XV 妊娠、分娩及び産じょく	15	15	-	30	13	11	-	26
XVI 周産期に発生した病態	5	5	5	4	2	2	2	2
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	5	4	10	9	10	10
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15	19	13	17	68	60	56	79
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	98	96	78	118	250	238	258	243
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	8	4	11	465	405	373	552
歯の補てつ (再掲)	0	0	0	0	237	209	210	263

(3) 都道府県別

都道府県（患者住所地）別にみると、入院では、「高知」が 2,191 と最も高く、次いで「鹿児島」1,964、「長崎」1,860 となっている。また、「神奈川」が 705 と最も低く、次いで「千葉」740、「埼玉」741 となっている。

外来では、「香川」が 6,548 と最も高く、次いで「佐賀」6,516、「長崎」6,439 となっている。また、「沖縄」が 3,984 と最も低く、次いで「神奈川」4,442、「埼玉」4,586 となっている。（図5）

図5 都道府県（患者住所地）別にみた受療率（人口10万対）



注：都道府県別受療率は、患者の住所地別に算出したものである。

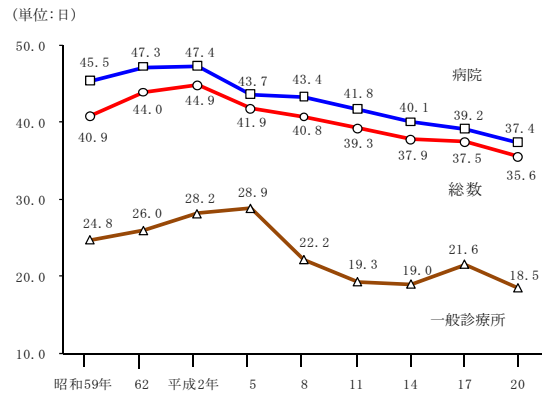
3 退院患者の平均在院日数等

(1) 施設の種類の年齢階級別

平成20年9月中に退院した推計患者について、在院日数の平均である平均在院日数を施設の種類の別に見ると、「病院」37.4日、「一般診療所」18.5日となっており、平成17年に比べ「病院」1.8日、「一般診療所」3.1日短くなっている（図6）。

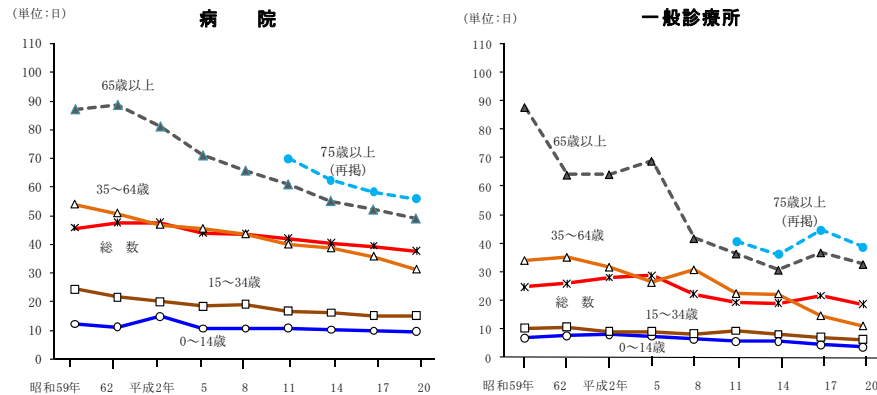
年齢階級別に見ると、年齢階級が上がるに従い退院患者の平均在院日数は長くなっているが、いずれの年齢階級においても年次推移で見ると全体的に短くなる傾向にある。（図7、統計表11）

図6 施設の種類の別に見た退院患者の平均在院日数の年次推移



注：1）各年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
2）診療所の調査の期日については、平成17年から休診の多い木曜日を除外した。

図7 年齢階級別に見た退院患者の平均在院日数の年次推移



注：1）各年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
2）平成8年以前は、「75歳以上」を表章していない。
3）診療所の調査の期日については、平成17年から休診の多い木曜日を除外した。

(2) 傷病分類別

退院患者の平均在院日数を傷病分類別にみると、長い順に「V 精神及び行動の障害」290.6日、「VI 神経系の疾患」74.1日、「IX 循環器系の疾患」52.7日となっている（表10、統計表12）。

表10 傷病分類別に見た年齢階級別退院患者の平均在院日数

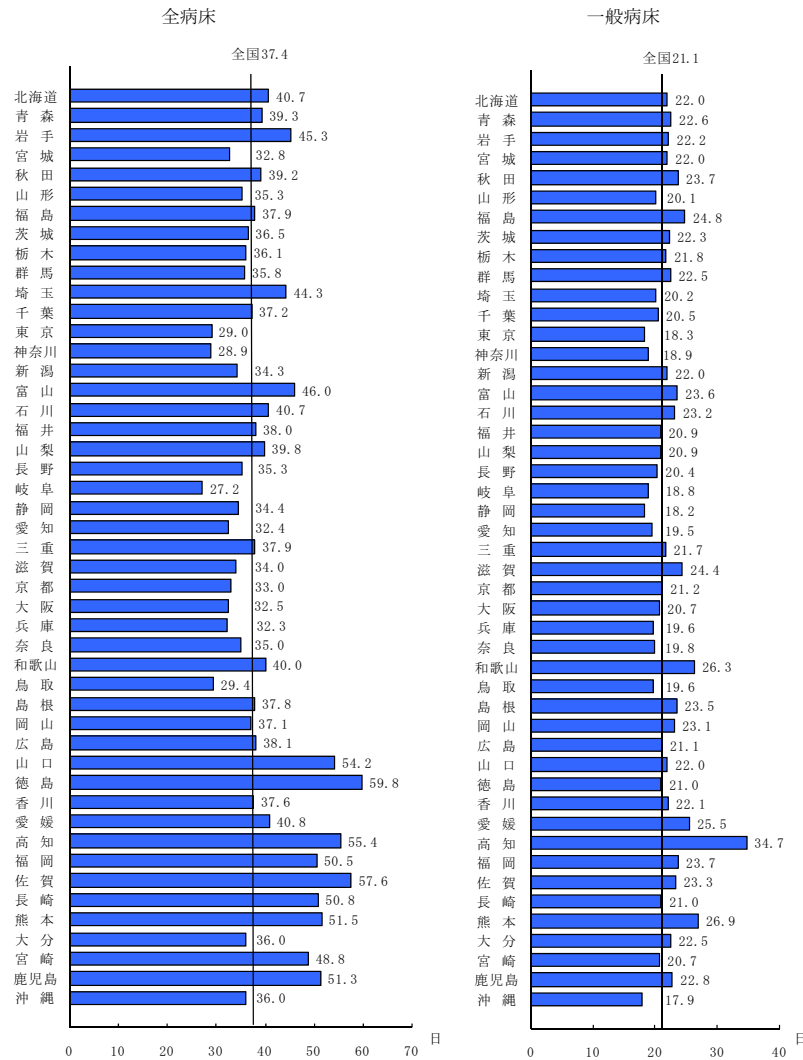
傷病分類		総数	男	女	0～14歳	15～34	35～64	65歳以上	70歳以上 (再掲)	75歳以上 (再掲)
総数		35.6	34.3	36.7	8.9	13.0	29.5	47.7	50.2	54.2
I 感染症及び寄生虫症		22.7	23.7	21.6	7.1	8.1	18.5	35.7	38.1	42.3
	結核 (再掲)	60.3	64.8	52.4	10.6	37.9	60.3	63.8	63.0	64.8
	ウイルス肝炎 (再掲)	16.9	17.2	16.6	8.1	12.3	13.8	23.7	31.0	39.9
II 新生物		22.4	22.7	22.1	20.8	15.1	17.5	25.9	27.7	30.4
	胃の悪性新生物 (再掲)	26.8	24.1	32.9	20.5	19.1	21.2	29.2	31.6	35.9
	大腸の悪性新生物 (再掲)	19.2	18.4	20.4	5.2	13.3	14.8	21.7	23.5	26.5
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	22.4	20.7	26.2	41.5	16.4	17.9	23.7	25.0	27.0
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	27.2	26.3	29.2	25.6	12.3	23.5	28.8	30.2	33.6
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25.1	22.9	26.7	13.0	11.8	22.9	28.4	29.2	31.1	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	32.0	28.5	35.8	6.8	12.0	20.7	42.1	44.4	45.6	
	糖尿病 (再掲)	38.6	32.0	47.1	19.0	14.8	21.7	53.4	59.6	65.5
V 精神及び行動の障害		290.6	340.1	249.9	33.2	66.2	265.2	438.5	415.8	382.1
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	327.7	251.9	379.6	-	-	543.4	321.2	323.8	324.8
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	543.4	654.9	443.0	52.3	103.8	440.5	1 231.6	1 353.5	1 400.1
VI 神経系の疾患	74.1	61.2	89.6	20.6	43.6	50.8	102.6	109.9	117.4	
VII 眼及び付属器の疾患	7.4	7.2	7.5	6.2	9.1	8.4	7.1	7.3	6.8	
VIII 耳及び乳突突起の疾患	10.2	9.9	10.4	5.2	9.0	10.5	11.3	11.8	13.2	
IX 循環器系の疾患		52.7	40.1	68.5	12.2	11.8	25.4	63.7	69.6	78.8
	高血圧性疾患 (再掲)	45.8	25.5	56.9	24.9	9.4	18.7	52.4	55.7	59.4
	心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	24.2	16.7	35.3	12.7	13.0	11.2	29.0	32.8	38.2
	脳血管疾患 (再掲)	104.7	85.3	125.8	23.2	29.8	57.6	118.4	125.1	136.3
X 呼吸器系の疾患	27.3	24.4	31.2	5.3	9.0	15.1	42.9	44.2	45.7	
	喘息 (再掲)	12.1	10.2	14.4	4.6	15.5	13.3	33.7	36.8	41.4
XI 消化器系の疾患		14.6	13.8	15.8	5.9	8.7	11.9	18.2	19.5	21.4
	歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	5.5	5.6	5.4	7.4	5.3	4.6	6.6	7.9	7.2
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	19.6	19.7	19.5	9.7	19.8	15.9	21.9	23.3	23.9
	肝疾患 (再掲)	29.8	27.6	33.2	12.7	14.3	22.2	37.8	41.4	42.7
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	26.1	23.3	29.0	6.8	9.3	18.4	36.0	37.6	39.5	
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	36.0	30.1	40.1	14.1	17.0	26.0	45.1	48.3	53.9	
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	24.2	23.4	25.1	9.9	9.4	13.2	34.8	37.4	40.9	
XV 妊娠、分娩及び産後	8.0	-	8.0	15.5	8.0	8.1	-	-	-	
XVI 周産期に発生した病態	10.8	10.9	10.8	10.8	-	-	-	-	-	
XVII 先天畸形、変形及び染色体異常	19.9	20.0	19.7	14.4	24.6	41.9	22.6	23.1	25.9	
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20.6	19.0	21.8	7.0	8.8	15.1	26.2	27.8	30.0	
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響		34.8	28.3	40.6	6.7	14.3	23.9	48.6	50.6	53.1
	XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.1	7.3	10.0	7.6	7.2	4.5	20.2	23.4	23.6
	箇の補てつ (再掲)	2.7	2.3	3.0	-	3.5	2.6	2.8	3.0	3.7

注：1）平成20年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
2）総数には、年齢不詳を含む。

(3) 都道府県別

病院の退院患者の平均在院日数を都道府県（施設所在地）別にみると、「徳島」が 59.8 日と最も長く、「岐阜」が 27.2 日と最も短くなっている。一般病床では、「高知」が 34.7 日と最も長く、「沖縄」が 17.9 日と最も短くなっている。（図 8）

図 8 都道府県（施設所在地）別にみた病院の退院患者の平均在院日数

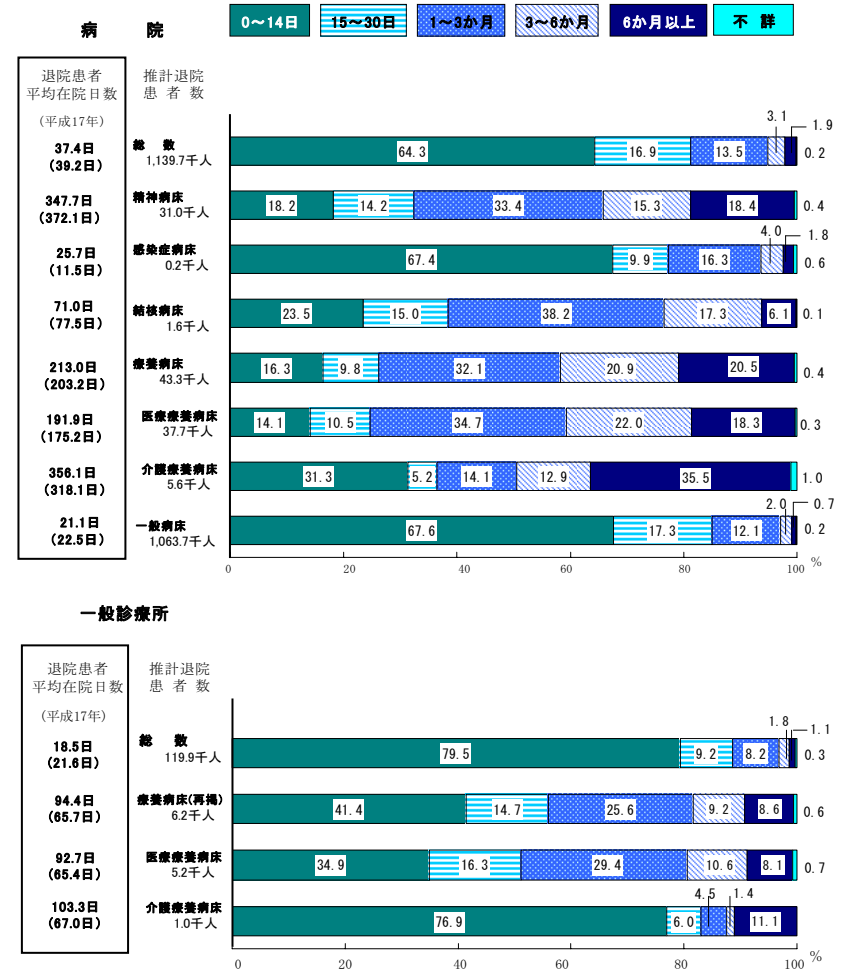


注：平成 20 年 9 月 1 日～30 日に退院した者を対象としたものである。

(4) 病床の種類別

退院患者の在院期間別に推計退院患者数の構成割合をみると、病院は「0～14 日」が 64.3%、「15～30 日」16.9%、一般診療所は「0～14 日」が 79.5%、「15～30 日」9.2%となっている。また、平均在院日数をみると、平成 17 年に比べ病院、一般診療所ともに減少しているが、病床の種類別では、感染症病床、療養病床は増加している。（図 9）

図 9 病床の種類別にみた在院期間別の推計退院患者数の構成割合

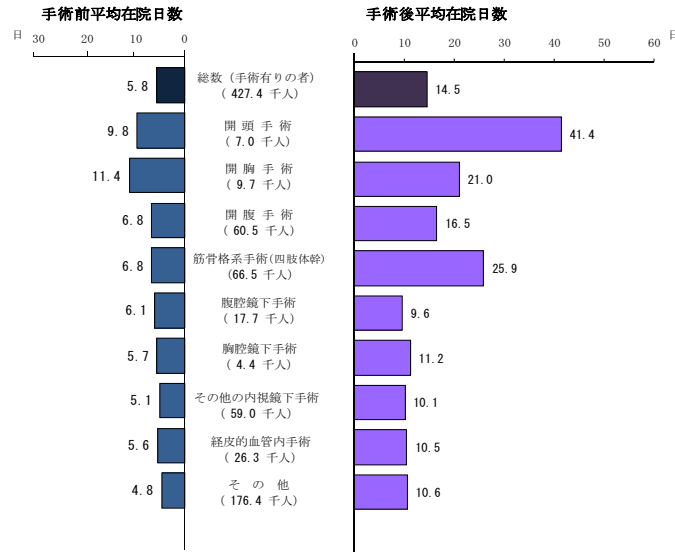


注：1) 各年 9 月 1 日～30 日に退院した者を対象としたものである。
 2) 病床の種類は退院時のものである。
 3) () 内は、平成 17 年の数値である。

(5) 手術前平均在院日数・手術後平均在院日数

平成20年9月中月に退院した患者のうち手術有りの者についてみると、手術前平均在院日数は5.8日であり、「開胸手術」11.4日が最も長く、「その他の内視鏡下手術」5.1日が最も短くなっている。手術後平均在院日数は14.5日であり、「開頭手術」41.4日が最も長く、「腹腔鏡下手術」9.6日が最も短くなっている。(図10)

図10 手術名別にみた手術前平均在院日数・手術後平均在院日数

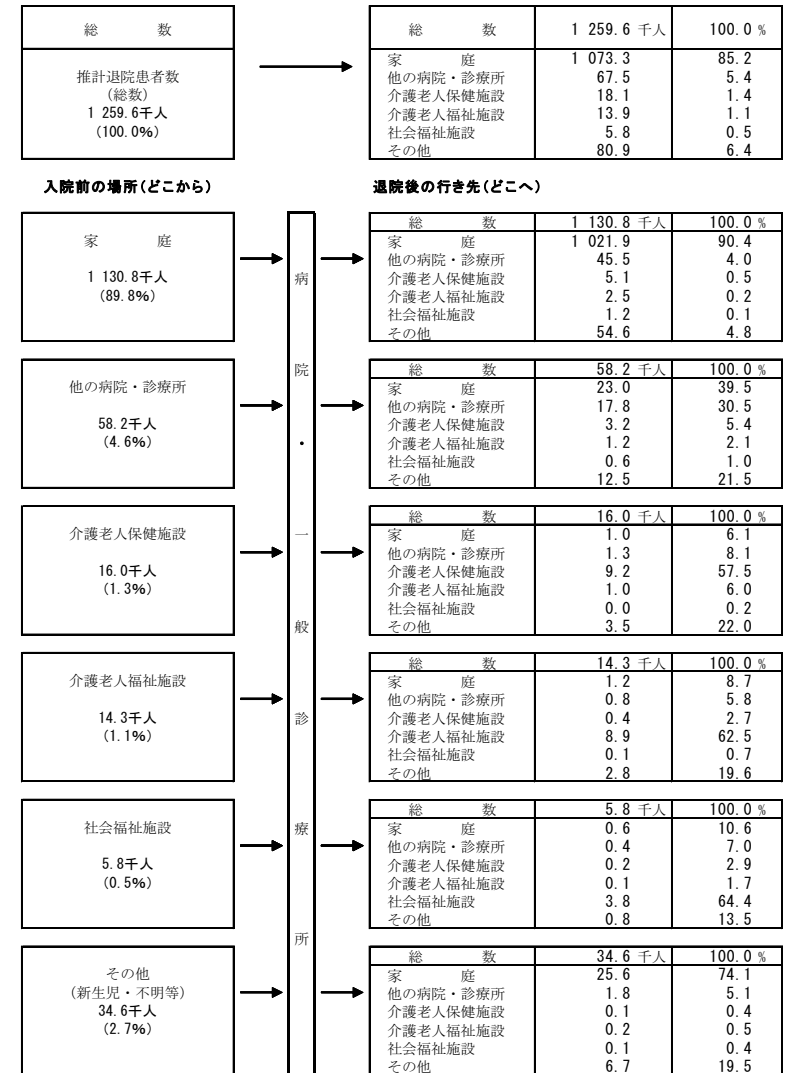


- 注：1) 平成20年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
 2) 「開頭手術」とは、頭蓋骨を広範囲に開窓する方法により行われる外科手術をいう。
 3) 「開胸手術」とは、胸壁を切開し胸腔に達する方法により行われる外科手術をいう。
 4) 「開腹手術」とは、腹壁を切開し腹腔に達する方法により行われる外科手術をいう。ただし、開胸開腹手術については開胸手術としている。
 5) 「筋骨格系手術」とは、四肢体幹を切開し、筋、腱、関節、骨、神経に達する方法により行われる外科手術をいう。
 6) 「腹腔鏡下手術」とは、腹腔鏡を用いた外科手術をいう(腹腔鏡下胆嚢摘除術、腹腔鏡下婦人科手術等)。
 7) 「胸腔鏡下手術」とは、胸腔鏡を用いた外科手術をいう(胸腔鏡下肺切除術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術等)。
 8) 「その他の内視鏡下手術」とは、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術以外の内視鏡、ファイバースコープを用いた外科手術をいう。
 9) 「経皮的血管内手術」とは、不安定狭心症や閉塞性動脈硬化症に対してカテーテルを用いて行う血管内治療をいう。
 10) 「その他」とは、上記以外の外科手術をいう。

4 入院前の場所・退院後の行き先

入院前の場所についてみると、「家庭」が1,130.8千人で推計退院患者の89.8%となっている。また、退院後の行き先についてみると、「家庭」が85.2%となっている。(図11)

図11 入院前の場所・退院後の行き先別推計退院患者数・構成割合



- 注：1) 平成20年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
 2) 「家庭」には、病院・一般診療所への通院、在宅医療も含む。
 3) 退院後の行き先における「その他」とは、退院後の行き先が特定できない者で、死亡・不明等も含む。

5 主要な傷病の総患者数

主要な傷病についての総患者数は、「高血圧性疾患」7,967千人、「歯及び歯の支持組織の疾患」6,002千人、「糖尿病」2,371千人、「悪性新生物」1,518千人、「脳血管疾患」1,339千人、「白内障」917千人となっている（表11、統計表13）。

表11 主要な傷病の総患者数

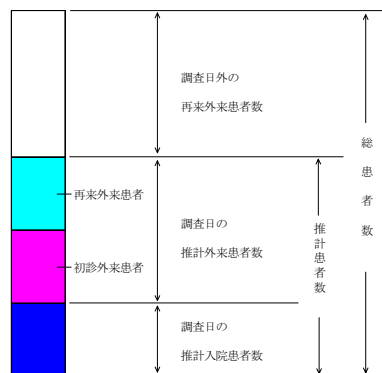
	総 数		男		女	
	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年	平成20年	平成17年
結 核	27	39	16	20	12	18
ウイルス肝炎	313	410	150	208	163	202
悪性新生物	1 518	1 423	837	792	680	630
胃の悪性新生物	213	208	141	135	72	73
大腸の悪性新生物	235	214	135	115	101	99
肝及び肝内胆管の悪性新生物	66	68	41	46	25	21
気管、気管支及び肺の悪性新生物	131	123	83	79	48	44
乳房の悪性新生物	179	156	2	2	177	154
糖 尿 病	2 371	2 469	1 312	1 323	1 061	1 147
血管性及び詳細不明の認知症	143	145	38	46	105	99
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	795	757	386	362	410	396
パーキンソン病	139	145	59	64	80	81
アルツハイマー病	240	176	67	47	173	128
白 内 障	917	1 288	285	377	635	913
中 耳 炎	297	221	145	110	152	111
高血圧性疾患	7 967	7 809	3 340	3 126	4 643	4 691
虚血性心疾患	808	863	464	461	348	403
脳血管疾患	1 339	1 365	650	666	689	699
喘 息	888	1 092	438	550	451	542
歯及び歯の支持組織の疾患	6 002	5 664	2 470	2 384	3 532	3 280
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	520	632	274	336	247	297
肝 疾 患	247	312	132	180	115	132
アトピー性皮膚炎	349	384	172	187	178	197
関節リウマチ	336	317	72	64	264	253
前立腺肥大(症)	442	459	442	459	.	.

注：1）総患者数は、表章単位ごとの平均診療間隔を用いて算出するため、男と女の合計が総数に合わない場合がある。
2）総患者数は、主傷病をもとに算出している。

※総患者数（傷病別推計）とは

総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

$$\text{総患者数} = \text{入院患者数} + \text{初診外来患者数} + \text{再来外来患者数} \times \text{平均診療間隔} \times \text{調整係数}(6/7)$$



統 計 表

目 次

	頁
統計表1	推計入院患者数, 施設の種類・年次・性・年齢階級別 …… 23
統計表2	推計外来患者数, 施設の種類・年次・性・年齢階級別 …… 24
統計表3	推計入院患者数, 年齢階級・傷病大分類別 …… 25
統計表4	推計入院患者数, 年次・傷病大分類別 …… 26
統計表5	推計外来患者数, 年齢階級・傷病大分類別 …… 27
統計表6	推計外来患者数, 年次・傷病大分類別 …… 28
統計表7	推計患者数の構成割合, 入院-外来・施設の種類・傷病大分類別 …… 29
統計表8	受療率(人口10万対), 入院-外来・年次・性・年齢階級別 …… 30
統計表9	入院受療率(人口10万対), 年次・傷病大分類別 …… 31
統計表10	外来受療率(人口10万対), 年次・傷病大分類別 …… 32
統計表11	退院患者の平均在院日数, 施設の種類・年次・年齢階級別 …… 33
統計表12	退院患者の平均在院日数, 年次・傷病大分類別 …… 34
統計表13	総患者数, 性・年次・主な傷病別 …… 35

(単位:千人)

統計表1 推計入院患者数、施設の種類・年次・性・年齢階級別

Table with columns for age group, sex, and year (2000-2010). Rows include total, male, and female counts for various age groups from 0 to 85+.

各年10月

Table showing estimated hospitalization patients by facility type (e.g., hospital, nursing home) and age group (0-85+).

統計表2 推計外来患者数、施設の種類・年次・性・年齢階級別

(単位:千人)

Table with columns for age group, sex, and year (2000-2010). Rows include total, male, and female counts for various age groups from 0 to 85+.

各年10月

統計表9 入院受療率（人口10万対），年次・傷病大分類別

各年10月

傷病大分類	平成8年	11	14	17	20
総数	1 176	1 170	1 139	1 145	1 090
I 感染症及び寄生虫症	28	27	25	21	19
腸管感染症	4	4	4	4	4
結核	9	9	7	5	4
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	0	2	0	1	1
真菌症	0	0	0	1	1
その他の感染症及び寄生虫症	13	12	12	11	10
II 新生物	134	134	131	133	125
悪性新生物	107	108	109	113	111
胃の悪性新生物	19	18	16	15	13
結腸及び直腸の悪性新生物	15	15	14	15	15
気管、気管支及び肺の悪性新生物	14	14	15	16	16
その他の悪性新生物	59	61	64	68	66
良性新生物及びその他の新生物	27	26	21	20	14
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	5	5	5	5
貧血	3	3	3	3	3
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2	2	2	2	2
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	40	39	33	31	29
甲状腺障害	2	2	1	1	1
糖尿病	34	32	27	24	20
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4	5	5	6	8
V 精神及び行動の障害	259	263	258	255	236
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	172	169	159	156	147
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	18	20	21	22	22
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	6	6	5	4	4
その他の精神及び行動の障害	63	69	73	74	63
VI 神経系の疾患	53	57	66	76	83
VII 眼及び付属器の疾患	11	12	12	10	8
白内障	7	8	8	6	5
その他の眼及び付属器の疾患	4	4	4	4	3
VIII 耳及び乳突突起の疾患	3	3	3	2	2
外耳疾患	0	0	0	0	0
中耳炎	1	1	0	0	0
その他の中耳及び乳突突起の疾患	0	0	0	0	0
内耳疾患	1	1	1	1	1
その他の耳疾患	1	1	1	1	1
IX 循環器系の疾患	259	250	246	249	219
高血圧性疾患	23	17	11	9	7
心疾患（高血圧性のものを除く）	53	50	47	47	46
虚血性心疾患	26	23	19	16	15
その他の心疾患	27	28	28	31	31
脳血管疾患	172	172	178	183	156
脳梗塞	121	123	127	126	102
その他の脳血管疾患	50	49	51	56	54
その他の循環器系の疾患	12	11	10	10	11
X 呼吸器系の疾患	53	56	57	62	66
急性上気道感染症	2	2	2	2	1
肺炎	17	17	21	27	29
急性気管支炎及び急性細気管支炎	1	2	2	2	2
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	7	7	6	6	7
喘息	13	12	9	7	4
その他の呼吸器系の疾患	13	14	16	18	22
X I 消化器系の疾患	73	66	59	56	54
う蝕	0	0	0	0	0
歯肉炎及び歯周疾患	0	0	0	0	0
その他の歯及び歯の支持組織の障害	0	0	0	0	0
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	12	10	8	6	5
胃炎及び十二指腸炎	2	2	1	1	1
肝疾患	18	15	12	10	8
その他の消化器系の疾患	39	38	37	38	39
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	6	7	7	7	10
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	61	60	55	54	54
炎症性多発性関節障害	9	9	8	7	7
脊柱障害	27	27	24	22	22
骨の密度及び構造の障害	4	4	3	2	4
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	20	20	21	23	25
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	34	35	37	36	37
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	23	23	27	26	27
乳房及び女性生殖器系の疾患	3	2	2	2	2
その他の腎尿路生殖器系の疾患	9	9	8	8	8
X V 妊娠、分娩及び産じょく	21	20	19	15	15
流産	1	1	1	1	0
妊娠高血圧症候群	1	1	0	0	0
単胎自然分娩	13	6	7	5	5
その他の妊娠、分娩及び産じょく	7	13	10	9	9
X VI 周産期に発生した病態	5	5	5	5	5
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	6	5	5	5	5
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	17	18	17	19	15
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	93	95	93	96	98
骨折	58	61	62	65	67
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	35	34	31	31	32
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	14	12	8	8	8
正常妊娠・産じょくの管理	6	6	4	3	29
歯の補てつ	0	0	0	0	0
その他の保健サービス	8	7	4	4	5

統計表10 外来受療率（人口10万対），年次・傷病大分類別

各年10月

傷病大分類	平成8年	11	14	17	20
総数	5 824	5 396	5 083	5 551	5 376
I 感染症及び寄生虫症	168	167	172	178	152
腸管感染症	26	24	26	26	23
結核	5	5	3	2	2
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	29	29	27	33	34
真菌症	36	38	41	40	37
その他の感染症及び寄生虫症	72	73	75	77	57
II 新生物	153	144	141	160	171
悪性新生物	101	95	94	110	123
胃の悪性新生物	23	19	16	15	17
結腸及び直腸の悪性新生物	19	17	16	16	18
気管、気管支及び肺の悪性新生物	7	7	8	10	11
その他の悪性新生物	52	51	54	69	76
良性新生物及びその他の新生物	52	49	47	50	48
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	27	22	21	21	18
貧血	2	18	17	16	13
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	5	4	5	5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	269	270	282	299	282
甲状腺障害	22	24	21	20	21
糖尿病	155	146	146	158	147
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	92	100	116	120	114
V 精神及び行動の障害	124	123	157	176	182
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	38	37	44	49	52
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	30	30	51	60	63
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	34	31	37	39	39
その他の精神及び行動の障害	21	26	25	27	28
VI 神経系の疾患	95	88	94	112	104
VII 眼及び付属器の疾患	272	269	240	261	211
白内障	96	97	77	80	57
その他の眼及び付属器の疾患	175	171	164	182	154
VIII 耳及び乳突突起の疾患	110	107	80	90	96
外耳疾患	19	19	14	18	15
中耳炎	51	50	35	39	48
その他の中耳及び乳突突起の疾患	14	13	8	8	7
内耳疾患	11	10	10	10	10
その他の耳疾患	15	15	12	15	16
IX 循環器系の疾患	892	798	704	743	701
高血圧性疾患	564	514	466	504	471
心疾患（高血圧性のものを除く）	146	130	110	112	102
虚血性心疾患	85	75	60	58	53
その他の心疾患	61	55	51	54	49
脳血管疾患	138	116	97	96	94
脳梗塞	100	90	75	75	68
その他の脳血管疾患	38	26	22	22	26
その他の循環器系の疾患	43	37	31	31	34
X 呼吸器系の疾患	676	649	563	593	508
急性上気道感染症	274	268	219	223	204
肺炎	7	7	6	7	7
急性気管支炎及び急性細気管支炎	92	88	92	97	78
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	44	36	30	32	25
喘息	123	120	111	115	88
その他の呼吸器系の疾患	135	131	105	118	105
X I 消化器系の疾患	1 198	1 019	951	1 019	979
う蝕	250	233	209	247	247
歯肉炎及び歯周疾患	189	182	209	249	287
その他の歯及び歯の支持組織の障害	397	312	278	276	250
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	94	73	59	49	40
胃炎及び十二指腸炎	108	82	68	66	51
肝疾患	70	55	43	37	28
その他の消化器系の疾患	92	82	85	95	102
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	207	220	173	209	198
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	763	699	693	769	740
炎症性多発性関節障害	59	58	46	45	45
脊柱障害	402	373	366	410	380
骨の密度及び構造の障害	65	49	49	49	47
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	238	226	233	262	268
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	172	162	175	197	226
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	55	57	64	78	106
乳房及び女性生殖器系の疾患	60	53	57	52	60
その他の腎尿路生殖器系の疾患	58	52	54	67	59
X V 妊娠、分娩及び産じょく	14	15	14	11	13
流産	2	2	2	1	2
妊娠高血圧症候群	0	0	0	0	0
単胎自然分娩	0	0	1	1	1
その他の妊娠、分娩及び産じょく	12	12	11	9	11
X VI 周産期に発生した病態	1	2	2	2	2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	11	9	8	9	10
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	66	55	52	60	68
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	254	255	221	238	250
骨折	63	66	60	67	74
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	191	189	162	171	176
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	351	323	341	405	465
正常妊娠・産じょくの管理	32	27	26	26	29
歯の補てつ	202	176	194	209	237
その他の保健サービス	117	120	121	170	198

統計表13 総患者数、性・年次・主な傷病別

結核 ウイルス肝炎 悪性新生物 胃の悪性新生物 大腸の悪性新生物 肝及び肝内胆管の悪性新生物 気管、気管支及び肺の悪性新生物 乳房の悪性新生物 糖尿病 血管性及び詳細不明の認知症 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 パーキンソン病 アルツハイマー病 白内障 中耳炎 高血圧性疾患 虚血性心疾患 脳血管疾患 嚔 歯及び歯の支持組織の疾患 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 肝疾患 アトピー性皮膚炎 関節リウマチ 前立腺肥大症	総数					男					女				
	平成25年	11	14	17	20	平成25年	11	14	17	20	平成25年	11	14	17	20
	(単位：千人)														
	91	71	47	39	27	56	41	27	20	16	35	30	20	18	12
	405	380	412	410	313	218	203	211	208	150	188	171	201	202	163
	1 363	1 270	1 280	1 423	1 518	684	649	674	792	837	679	621	605	630	680
	305	260	222	208	213	198	169	142	135	141	107	92	80	73	72
	257	228	222	214	235	140	127	123	115	135	117	101	98	99	101
	67	61	59	68	66	49	42	40	46	41	18	19	19	21	25
	90	90	99	123	131	61	60	67	79	83	29	30	32	44	48
	194	169	162	156	179	2	2	4	2	2	192	167	158	154	177
	2 175	2 115	2 284	2 469	2 371	1 133	1 116	1 208	1 323	1 312	1 042	1 000	1 076	1 147	1 061
	91	121	138	145	143	24	35	38	46	38	67	86	100	99	105
	721	666	734	757	795	361	330	360	362	386	360	336	375	396	410
	131	126	141	145	139	52	50	59	64	59	79	76	81	81	80
	20	29	89	176	240	7	7	28	47	67	13	22	61	128	173
	1 581	1 457	1 292	1 288	917	433	418	384	377	285	1 149	1 041	908	913	635
	255	281	203	221	297	123	132	98	110	145	133	149	106	111	152
	7 492	7 186	6 985	7 809	7 967	2 943	2 860	2 791	3 126	3 340	4 551	4 330	4 202	4 691	4 643
	1 190	1 067	911	863	808	616	564	481	461	464	576	507	433	403	348
	1 729	1 474	1 374	1 365	1 339	838	719	671	666	650	891	756	703	699	689
	1 146	1 096	1 069	1 092	888	619	596	558	550	438	527	500	511	542	451
	5 717	4 738	4 870	5 664	6 002	2 469	2 049	2 068	2 384	2 470	3 248	2 690	2 803	3 280	3 532
	1 164	965	782	632	520	733	596	452	336	274	431	371	330	297	247
	606	459	350	312	247	365	273	200	180	132	240	186	150	132	115
	318	399	279	384	349	162	191	153	187	172	156	208	126	197	178
	326	306	321	317	336	66	63	63	64	72	260	243	258	253	264
	319	334	398	459	442	319	334	398	459	442					

注：総患者数は表章単位ごとの平均診療回数をかけて算出するため、男と女の合計が総数に含まれない場合がある。

(参考) 受療率の算出に用いた人口

全国推計人口（総人口）
性・年齢階級別

(単位：千人)

総数	総数	男	女
総数	127 692	62 251	65 441
0歳	1 101	565	536
1～4歳	4 304	2 204	2 100
5～9歳	5 787	2 968	2 819
10～14歳	5 984	3 065	2 919
15～19歳	6 155	3 152	3 003
20～24歳	7 105	3 650	3 455
25～29歳	7 630	3 892	3 738
30～34歳	8 996	4 565	4 430
35～39歳	9 609	4 858	4 750
40～44歳	8 406	4 236	4 170
45～49歳	7 781	3 906	3 875
50～54歳	7 822	3 904	3 918
55～59歳	9 838	4 865	4 972
60～64歳	8 958	4 374	4 584
65～69歳	8 041	3 845	4 195
70～74歳	6 957	3 213	3 744
75～79歳	5 705	2 474	3 232
80～84歳	4 059	1 569	2 490
85～89歳	2 174	647	1 527
90歳以上	1 282	297	982
(再掲)			
65歳以上	28 218	12 045	16 170
70歳以上	20 177	8 200	11 975
75歳以上	13 220	4 987	8 231

資料：総務省統計局「平成20年10月1日現在推計人口（総人口）」